

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第127号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年12月29日 10時30分ごろ	
発生場所	岡山県倉敷市水島港玉島地区 水島港八幡防波堤灯台から真方位040° 440m付近 (概位 北緯34° 31.0' 東経133° 40.1')	
事故等調査の経過	平成23年7月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第十八 ^{しんざん} 神山丸、497トン	
船舶番号、船舶所有者等	134545、松神海運合資会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	ビルジキールが曲損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、碎石約1,580tを積載し、船首約3.4m、船尾約5.0mの喫水で玉島1号ふ頭の岸壁（以下「本件岸壁」という。）に接岸するため、水島港内を対地速力約3～4ノットで手動操舵により北進中、平成22年12月29日10時30分ごろ、浅所に船底が接触したことから、航行を中止した。</p> <p>船長は、本件岸壁に着岸するのは初めてであり、潮汐については確認していたが、水深については確認していなかった。</p> <p>船長は、上げ潮を待って航行を再開し、本件岸壁に着岸した。</p> <p>本船は、平成23年4月の入渠の際、ビルジキールの曲損が発見された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の末期</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、水島港内を北進中、船長が水島港内の水路調査を行っていなかったことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、水島港内を北進中、船長が水島港内の水路調査を行っていなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	